



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社アドバネクス 上場取引所 東
 コード番号 5998 URL http://www.advanex.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)柴野 恒雄
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役常務最高財務責任者 (氏名)大野 俊也 (TEL) 03-3822-5865
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	15,755	4.0	55	△72.3	97	△60.3	△71	—
30年3月期第3四半期	15,151	14.4	199	18.5	245	4.2	103	26.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △136百万円 (-%) 30年3月期第3四半期 498百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△17.54	—
30年3月期第3四半期	25.37	25.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	22,350	5,976	26.6
30年3月期	20,315	6,233	30.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,948百万円 30年3月期 6,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	30.00	30.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	4.5	100	△61.5	180	△24.2	30	△39.8	7.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期3Q	4,153,370株	30年3月期	4,153,370株
31年3月期3Q	59,236株	30年3月期	75,501株
31年3月期3Q	4,087,878株	30年3月期3Q	4,080,017株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実勢の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、米国及び中国は米中貿易摩擦の深刻化により企業業績への影響が出始めており、特に中国は消費の減速が鮮明になりました。欧州は足元では堅調に推移しているものの英国EU離脱などの問題を抱えており先行き不透明感が強まっています。日本は概ね堅調に推移したものの同貿易摩擦の影響が出始めるなど不安感が高まっています。当社が関連する分野においては、自動車市場は中国及び欧州では足元の市場減速の影響を受けているものの、国内及び米州では堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比4.0%増の157億55百万円となり、営業利益は同72.3%減の55百万円となりました。経常利益は同60.3%減の97百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は71百万円(前年同四半期は1億3百万円の利益)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(日本)

自動車向けが好調に推移したことなどから売上高は前年同四半期比6.6%増の62億12百万円となりましたが、材料費が高騰したことなどから、セグメント損失は1億20百万円(前年同四半期は75百万円の損失)となりました。

(米州)

医療向けが好調に推移したことなどから売上高は前年同四半期比10.7%増の18億21百万円となりましたが、メキシコ工場の立ち上げコストが増加したこと、及び材料費が高騰したことなどから、セグメント損失は2億64百万円(前年同四半期は2億61百万円の損失)となりました。

(欧州)

自動車と航空機向けが好調に推移したことなどから売上高は前年同四半期比9.4%増の14億98百万円となりましたが、チェコの新工場の開設準備費用等が発生したことなどから、セグメント利益は同46.8%減の89百万円となりました。

(アジア)

米中貿易摩擦やインドネシアルピア安の影響などにより売上高は前年同四半期比1.3%減の62億22百万円、セグメント利益は同6.5%減の3億52百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20億35百万円増加し、223億50百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が35百万円減少し、121億54百万円となりました。主な理由は、受取手形及び売掛金が25百万円、たな卸資産が4億2百万円増加しましたが、現金及び預金が6億37百万円減少したことによるものであります。また、固定資産合計額は20億70百万円増加し、101億95百万円となりました。有形固定資産が当社の工場リノベーション等により22億23百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債の部においては、負債合計額は163億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億92百万円増加しました。主な理由は、借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部においては、純資産合計額が59億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億57百万円減少しました。主な理由は、一部通貨の円高により、為替換算調整勘定が1億13百万円及び株主資本が1億74百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年11月12日に公表しました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,346,905	3,709,338
受取手形及び売掛金	4,826,490	4,852,217
商品及び製品	1,238,800	1,371,765
仕掛品	659,789	740,977
原材料及び貯蔵品	786,912	975,670
その他	345,347	512,798
貸倒引当金	△13,934	△7,801
流動資産合計	12,190,312	12,154,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,015,080	2,314,023
機械装置及び運搬具(純額)	3,125,728	3,622,643
土地	1,119,095	1,312,720
その他(純額)	750,214	1,984,422
有形固定資産合計	7,010,118	9,233,810
無形固定資産	225,129	174,931
投資その他の資産	889,848	787,251
固定資産合計	8,125,096	10,195,992
資産合計	20,315,408	22,350,959
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,574,829	3,065,356
短期借入金	2,624,429	2,307,281
1年内返済予定の長期借入金	2,109,704	2,522,914
未払法人税等	118,363	92,982
賞与引当金	229,306	111,560
製品保証引当金	75,908	71,634
その他	1,091,700	1,209,938
流動負債合計	8,824,241	9,381,667
固定負債		
長期借入金	3,436,123	5,327,315
繰延税金負債	226,503	241,572
環境対策引当金	3,000	—
退職給付に係る負債	1,435,779	1,360,084
資産除去債務	39,412	39,462
その他	116,904	24,782
固定負債合計	5,257,723	6,993,218
負債合計	14,081,965	16,374,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	256,717	256,717
利益剰余金	5,553,820	5,351,736
自己株式	△131,313	△103,328
株主資本合計	6,679,224	6,505,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,392	73,128
為替換算調整勘定	△387,176	△500,306
退職給付に係る調整累計額	△184,829	△129,929
その他の包括利益累計額合計	△492,613	△557,107
新株予約権	46,832	28,056
純資産合計	6,233,443	5,976,074
負債純資産合計	20,315,408	22,350,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	15,151,522	15,755,567
売上原価	11,572,830	12,071,931
売上総利益	3,578,692	3,683,636
販売費及び一般管理費	3,379,070	3,628,311
営業利益	199,622	55,324
営業外収益		
受取利息	19,988	19,714
受取配当金	5,962	2,521
受取賃貸料	39,638	39,742
保険解約返戻金	—	35,670
その他	51,374	42,336
営業外収益合計	116,965	139,985
営業外費用		
支払利息	38,274	50,724
為替差損	12,812	2,939
その他	19,514	44,014
営業外費用合計	70,601	97,679
経常利益	245,986	97,630
特別利益		
固定資産売却益	7,973	8,965
受取補償金	—	5,659
特別利益合計	7,973	14,625
特別損失		
固定資産売却損	2,945	990
固定資産処分損	287	10,939
和解金	—	28,466
特別損失合計	3,233	40,396
税金等調整前四半期純利益	250,726	71,859
法人税、住民税及び事業税	141,268	141,463
法人税等調整額	5,934	2,080
法人税等合計	147,202	143,543
四半期純利益又は四半期純損失(△)	103,523	△71,683
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	103,523	△71,683

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	103,523	△71,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,688	△6,264
為替換算調整勘定	318,441	△113,129
退職給付に係る調整額	13,756	54,899
その他の包括利益合計	394,887	△64,493
四半期包括利益	498,410	△136,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	498,410	△136,177

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,829,351	1,645,488	1,369,374	6,307,307	15,151,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	677,949	292	47,272	146,730	872,245
計	6,507,301	1,645,781	1,416,646	6,454,038	16,023,768
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△75,863	△261,022	167,336	376,775	207,226

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	207,226
セグメント間取引消去	△7,604
四半期連結損益計算書の営業利益	199,622

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,212,923	1,821,263	1,498,701	6,222,679	15,755,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	680,344	—	51,672	210,064	942,080
計	6,893,267	1,821,263	1,550,373	6,432,744	16,697,648
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△120,828	△264,010	89,091	352,343	56,596

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	56,596
セグメント間取引消去	△1,271
四半期連結損益計算書の営業利益	55,324

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。